



2017年10月19日

報道関係各位

## 上智大学信濃町国際学生寮（仮称）を2019年4月に開設します 留学生と日本人学生が共同で暮らすシェアハウス方式を採用

上智大学などを運営する学校法人上智学院（東京都千代田区）は、2019年4月、JR信濃町駅から徒歩1分の立地に、新しい国際学生寮となる上智大学信濃町国際学生寮（仮称）を開設します。本学生寮は、留学生と日本人学生が共同で暮らす混住型の寮として2012年4月に運用を開始した「上智大学祖師谷国際交流会館」に続き、本学にとって2つ目の国際学生寮となります。起工式は2017年10月31日（火）を予定しています。

上智大学は2014年、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」にグローバル化牽引型大学として採択されました。現在、62の国と地域に、311校（2017年10月1日現在）の協定校を有し、留学生の受入れや学生の国際交流活動を積極的に推進しています。民族、文化、宗教等の多様な価値観をもつ人々がともに生活し、互いに学びあうことができる混住型の国際学生寮の増設は、グローバル人材の育成に資する重要な取組みと位置づけています。本学では、祖師谷国際交流会館とあわせて、多文化・多言語環境の中での共同生活を通じた人間的成長を促し、国際感覚豊かな人材を輩出する場として活用してまいります。

### 上智大学信濃町国際学生寮（仮称）概要

所在地： 東京都新宿区信濃町33番地7（JR信濃町駅 徒歩1分）

カトリックの精神に基づき、さまざまな教育・研修活動を行う  
一般財団法人真生会館の敷地の一部を借用して建設する。

構造： 鉄筋コンクリート造 地上9階建

収容人数：182人

対象： 留学生・日本人学生（割合＝1：1（予定））

#### ■ 共有空間「コモンリビング」を複数の住戸で共有する空間構成

本学生寮では、約9㎡の個室7室（一部6室）で1つのユニットを構成し、ユニットごとに共用のダイニングキッチン、トイレ、シャワーを設けるシェアハウス方式を採用しています。さらに複数のユニットに対して、「コモンリビング」と呼ばれる大きなリビングルームを各階に配置。2層吹き抜け空間とすることで、階を越えた寮生間の交流を可能とすると同時に、2フロアで大きなメゾネット空間をつくります。また、シャワー、洗面、キッチン、トイレを室内に設けた個室を2つ設け、障がいのある学生やLGBTの学生に対応します。

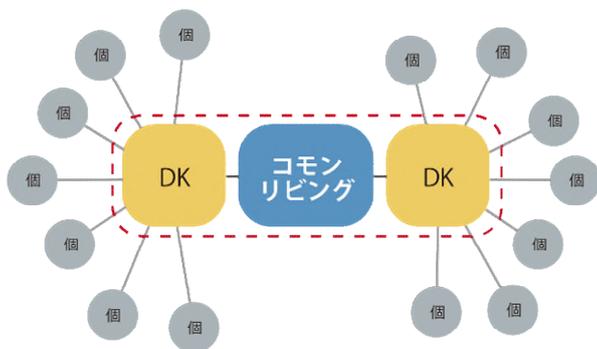
#### ■ 共有スペース

1階には多目的室、学習室およびシアタールーム、9階には軽スポーツスタジオ（男女別、計2箇所）を設置するほか、屋上にはテラスを設け、寮生間の交流活性化を促します。また、1階には宗教を問わず利用可能な「祈りの部屋」も設ける予定です。

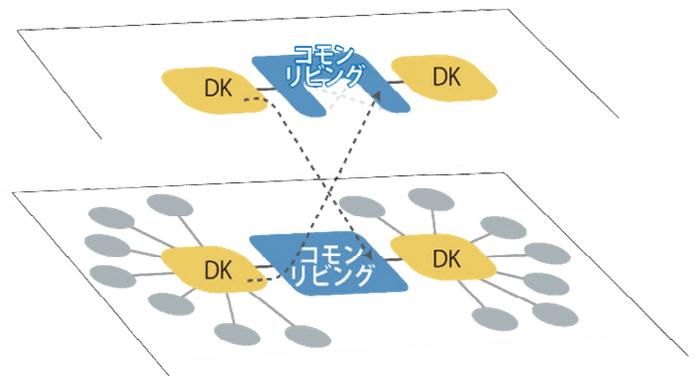
(1)上智大学信濃町国際学生寮（仮称）完成予想図



(2)コモンリビングを共有する施設構成



7つの個室とダイニングキッチン(DK)、トイレ、シャワーで1つの住戸を形成。コモンリビングは複数の住戸で共有する。



コモンリビングは各階に配置。2層吹き抜け空間として、階を越えた寮生間の交流を促進する。

コモンリビングのイメージ図

